

相談事業状況（指導課・教育研究センター）

1 相談事業

(1) いじめ相談

①いじめ110番

いじめ110番専用電話を設置し、児童・生徒とその保護者を対象に相談に応じる。

○令和元年度相談件数 12件

○学校種別相談件数

学 校	件 数
幼稚園	0
小学校	6
中学校	5
高校	0
その他	1
合計	12

○相談者別件数

相 談 者	件 数
本人	0
父	1
母	10
その他	1
合計	12

②いじめメール相談

いじめメール相談を開設し、児童生徒とその保護者を対象に相談に応じる。

○令和元年度相談件数 3件

○学校種別相談件数

学 校	件 数
小学校	3
中学校	0
その他	0
合計	3

○相談者別件数

相 談 者	件 数
本人	0
保護者	3
その他	0
合計	3

(2) スクールライフカウンセラーの配置

市立全小中学校に、スクールライフカウンセラーを配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見や相談に対応したり、保護者、教職員等に対し、必要に応じて助言・援助を行ったりする。

○令和元年度相談件数 12,955件

○令和元年度相談者の内訳

学校	相談件数
小学校	9,185
中学校	3,770

相談者	小学校	中学校
児童・生徒	4,319	1,223
保護者	1,432	643
教職員	3,222	1,516
その他	212	388

(3) いちよう学級

①学習支援

心理的要因による不登校児童・生徒に対して、在籍校に復帰することを目的にカウンセリングや学習・小集団活動を指導・援助する。平成30年6月には市内2か所目となるいちよう学級入船を開室し、より利用しやすい環境を整えた。

○通級者数

小学生	28人
中学生	36人
計	64人

○利用状況（長期休業中含む）

開級日数	245日
延べ利用人数	3,112人
1日の平均利用人数	12.70人

②教育相談

教育相談員が、浦安市内の児童・生徒や保護者、教師等を対象として、主に学校不適応に関する内容について電話・面接・訪問等による相談を行う。

○令和元年度 教育相談件数 245件 教育相談 延べ回数 3,478回

○相談件数・相談延べ回数内訳

相談内容		学校別						
		幼	小	中	高	他	計	
いじめ	件						0	
	回						0	
不登校（傾向）	件		76	89	6		171	
	回		1,298	1,509	37		2,844	
対人・集団不適応	件		9	5			14	
	回		80	125			205	
教師との関係	件		2		1		3	
	回		8		1		9	
学業・進路	学業の遅れ	件				1	1	
		回				1	1	
進路・学校選択	件		3	1	1		5	
	回		5	1	4		10	
性格・身体	発達の偏り	件	1	6	3	2	1	13
		回	9	111	12	12	35	179
	身体・神経症状	件		4	1			5
		回		33	1			34
情緒不安定	件		5	1			6	
	回		17	22			39	
家庭関係・親	家庭での対応	件		19	3	3		25
		回		104	15	34		153
	養育者の問題	件		1				1
回		1					1	

非行問題	件						0
	回						0
その他	件		1				1
	回		3				3
合 計	件	1	126	104	13	1	245
	回	9	1,660	1,686	88	35	3,478

※ 上段：相談件数 下段：相談延べ回数

※「養育者の問題」・・・親の育児不安、養育者の精神疾患等

### ③訪問相談

訪問相談員が、浦安市内の不登校傾向、引きこもり傾向の児童・生徒及び保護者を対象として、主に学校不適應に関する内容について訪問による相談を行う。

○令和元年度 訪問相談件数 29件 訪問相談 延べ回数 2,227回

## 2 まなびサポート事業

特別な教育的支援を必要とする子どもの教育的ニーズを的確に把握し、環境を整え、より豊かな園・学校生活を実現できるよう、子ども・保護者・学校を支援することを目的に、指導主事・公認心理師・臨床心理士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・特別支援教育指導員に、医師・スーパーバイザーを加えたメンバーで「まなびサポートチーム」を構成し、就学相談や学校支援を行っている。

就学相談では保護者が子どもの教育的ニーズに合った学習環境を選択できるように、就学前から継続した相談を行っている。就学後も継続して学校を訪問し、子どもの状況を把握して環境を整え、子どもたちがより豊かな学校生活を実現できるよう支援している。

学校支援では、学校や保護者から子どもの言動、学習の遅れ等、学校生活における相談を受けている。適宜、学校を訪問し、子どもの状況を把握して学校と協議し、環境を整え、子どもたちがより豊かな学校生活を実現できるよう支援している。

○令和元年度来所相談の件数及び回数

	件数	回数
来所相談	223	443
(うち就学相談)	(126)	(301)

○令和元年度訪問相談日数

幼稚園、認定こども園、保育園、小学校、中学校を訪問し、授業等の参観、管理職・担任等との面談や会議、保護者との面談、実地指導等を行った。

	訪問回数
幼稚園・認定こども園（14園）	219
保育園（17園）	94
小学校（17校）	1,120
中学校（9校）	161

○令和元年度医師・スーパーバイザーへの相談件数

まなびサポートチームが、子どもの理解・支援方法・就学先等についての相談の方向性を確認するため、医師及びスーパーバイザーと78件の相談を行った。